

しゅうねん いわ 10周年のお祝いをみなさんとともに



4月1日の開設記念日に、10周年記念お弁当を提供させていただきました。

ずわい蟹といくらの炊き込みごはんは色彩もきれいで、味はもちろん、目でも楽しむことができました。

また、おかずは普段お食事では見ることのない食材がたくさんありました。

デザートは、さくら流し羊羹で春を感じ、利用者みなさんには大変好評でした。

めんえきりよく たか しょくひんとくしゅう 免疫力を高める食品特集

免疫力を高めるには「腸を元気にする」「体を冷やさない」「ストレスを解消する」ことです。

そこで免疫力を高める食品を普段から積極的に摂るようにしましょう。

免疫力を高める食品には、にんにく、バナナ、かぼちゃ、ヨーグルトや食物繊維の多い海藻類などがあります。

にんにくには、抗酸化作用でがん予防や免疫強化作用に優れています。

バナナは、白血球の働きを高めて免疫力を高めます。

かぼちゃは、β-カロテンが豊富で粘膜などの細胞を強化します。

ヨーグルトは、腸内の善玉菌を増やして免疫力を高めます。

海藻類は、食物繊維を多く含んでいるほか、多くのミネラルを含んでいます。

普段の食事から食品の持つ栄養素を意識して、免疫力を高め自分の体を守りましょう!!

そうかん どう むか 「さかえ」創刊50号を迎え

読者の皆様、いつも「さかえ」をご愛読頂き、誠にありがとうございます。開設1年目から創刊した「さかえ」も節目の50号を迎えることができました。利用者のみなさんも過去の紙面を振り返ると少し懐かしい気持ちになるのではないのでしょうか。「さかえ」はケアセンター栄町での日常を毎回掲載しております。これからも皆様の心に残る思い出になれるよう紙面作りを編集委員で行っていきます。これからの「さかえ」は読者の皆様のご要望にもお応えし、より楽しめる紙面を作成して参りますのでよろしくお願い致します。

機関紙編集委員長 本田

へんしゅうこうき 編集後記

新型コロナウイルスの影響で面会制限等、ご協力を頂きまして有難うございます。

札幌は初夏を迎え、気持ちの良い季節になりました。

普段でしたら外出レク等の行事のご様子を掲載したいところですが、活動自粛のため、行事開催自体が困難となっており、本誌内容も変更し作成致しました。

例年のように皆様の特別な笑顔を沢山お届けできるように、一日も早くいつもの日常に戻ることを願うばかりです。

機関紙編集委員 久保

さかえ

発行日 令和 2年 6月 13日

発行・編集
社会福祉法人 禎心会
ケアセンター栄町 機関紙編集委員会
〒007-0847
札幌市東区北47条東1丁目1番1号
Tel. 011-789-1152 Fax. 011-789-1278

Vol.50



福)禎心会のHPはこちら



日頃より当センターの運営につきまして、多大なるご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。この度、ケアセンター栄町が10周年を迎えるにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

平成22年4月1日にオープンして以来、高齢者介護サービスと障がい福祉サービスの複合施設としてここまで歩みを進められたのは、偏に地域の皆様たちのお蔭と感謝いたしております。

この節目となるこの年に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、残念ながら周年記念の催しなども一部自粛せざるを得ない状況となってしまいました。しかしながら、今後も幾多の難局にチーム一丸で取り組み、皆様に安心を提供し、信頼いただける施設づくりに、より一層努めていく決意であります。何かと自粛ムードが漂い続け、気が滅入りがちですが、この先にはとても大きな幸せが待っていると信じ、共に頑張っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

施設長 櫻田 周



しゃ かい ふく し ほう じん てい しん かい
社会福祉法人 禎心会

しゅうねんきねんとくしゅう ささだ じょうむ り じ 10周年記念特集【笹田 常務理事にインタビュー】 さかえまち かこ みらい ～ケアセンター栄町の過去と未来～

今回は、ケアセンター栄町の全てを知る笹田常務理事に開設までの経緯やこの10年の歩み、また今後の展望についてお聴きしました。



Q1. ケアセンター栄町を開設することになった経緯とは？

A. 社会医療法人 榊心会病院を昭和59年から運営しており、栄町地区の住民から脳疾患を患い後遺症の残った患者様を地域から医療介護サービスを提供し介護を専門とする介護・障がい者施設を栄町地区を中心とし、還元していく為に開設しました。



Q2. この10年間で印象的であったことは？

A. 平成25年8月1日に秋篠宮妃殿下が当施設に訪問されたことですね。札幌市から先進的な施設として選抜され、光栄でした。また、毎年開催される夏祭りは、地域の方々の交流も深く、年々盛大になってきていますので胸が熱くなります。



Q3. 10周年を迎えた今の感想は？

A. 高齢者と障がい者サービスを両立させることは困難であると最初は感じていました。今では両方のサービスを提供することにサービス提供者としての意義を感じます。ケアセンター栄町の運営は利用者の皆様とスタッフが手を取り合い成り立っているのです。「10周年を迎えること」は想像以上に価値のあることと実感しています。



Q4. これからのケアセンター栄町の将来像と、今後期待することは？

A. ショートステイの柔軟な対応と、地域の方々が心地良く利用できるような安心感を与えられるようなサービスの提供をこれからも心がけていきます。利用者の皆様の一生に携われるような施設づくりに日々励んでまいります。



Q5. 最後にケアセンター栄町を利用されている利用者の皆様へ一言

A. 一日の生活の実感が満たされるよう日々、スタッフと連携を取りながら質の良いサービスを提供できるよう努めてまいります。利用者の皆様には元気で楽しく過ごして頂けるよう日常づくりをしていきます。皆様の期待に応えられる施設を目指して参りますので今後ともケアセンター栄町をよろしくお願いいたします。

ねん きんぞく しよくいん 【10年勤続されている職員から】



山の手リハビリセンターから異動になり、早10年が経過しました。開設当初は山の手リハビリセンターから移って来られた利用者様だけでしたが、時間の経過と共に新規入所の利用者様も増え、笑顔と笑い声で溢れています。これからも利用者の皆さんが安心して、生活できるよう職員一同、利用者の皆さんと共に歩んでいきたいです。
3階 係長 村上 絵里



平成22年4月1日開設からもう10年の歳月が経ったのですね。時の流れは早いものですね。利用者の皆さんとご家族様や、職員の皆さん、地域の皆様に支えていただきながらの10年でした。今後も感謝の気持ちを忘れずに、微力ながら精進して参りたいと思っております。これからも何卒よろしくお願いいたします。
2階 係長 中谷 弘幸